

# 国際交流を足場にした、多文化多様性交流事業

平成29年度蒲郡市市民企画まちづくり事業助成  
主催：特定非営利活動法人オアシス

## 外国暮らし体験交流会



日時 平成30年1月14日（日）

受付：10:00 開会：10:30

場所 蒲郡市民会館大会議室

参加費 無料



### ゲスト

◇豊田市立井郷中学校 柴田恭孝 氏  
タイ3年（スリランカ3年） 日本人学校

◇私立桜丘高等学校 鈴木順久 氏  
グアテマラ6年（ホンジュラス4年、チリ3年）

◇蒲郡市立蒲郡中学校 本間美樹 氏  
アラスカ3年 ツアーガイド

- パネル対話 ① 体験対話  
② 思い出対話  
③ 人生対話

### ゲストからのメッセージ

断水がなく、しかも水道水が飲める。停電がなく、いつも明るい。治安が良いので道を歩くことができる。強盗がないので、夜はぐっすり眠ることができる。警察はワイロを求めない。デング熱にもかからない。グアテマラでは失業率が40%なのに、日本には仕事がある。そして、日本人は間違いなく世界一優しい。日本人はみな幸せだと思う。 鈴木順久



# 国際交流を足場にした、多文化多様性交流事業

平成 29 年度蒲郡市市民企画まちづくり事業助成



## 外国暮らし体験交流会

1 日時 平成 30 年 1 月 14 日 (日) 10:30~12:00

2 場所 蒲郡市民会館大会議室

3 参加者

① ゲスト 豊田市立井郷中学校長 柴田恭孝 氏 スリランカ  
私立桜丘高等学校教諭 鈴木順久 氏 ホンジュラス (グワテマラ)  
蒲郡市立蒲郡中学校教諭 本間美樹 氏 アラスカ (カナダ)

② 進行 総合司会 浦野憲治 (オアシス)  
パネル対話司会 神崎恭紀 (オアシス)

③ 一般参加 支援者・「カンボジア&市民交流会」参加者への案内・関係学校への案内

4 外国暮らし体験交流会

① 開会のことば 総合司会：浦野憲治

② あいさつ「外国暮らし体験者リレー式あいさつ」 6分

一人2分以内でテーマ「外国生活で得たもの(失ったもの)」を述べる。

○ 仲田幸正 (オアシス)

○ 箕元江 (オアシス)

○ 神崎恭紀 ※前二人の挨拶を受けつつ自分の思いを述べ、次のパネル対話に繋ぐ。

③ パネル対話 司会：神崎恭紀

【体験対話】 40分 (配布資料で略歴紹介)

○ 自己紹介を兼ね、プロジェクターを利用して外国暮らし体験の略歴を述べる。

柴田 → 鈴木 → 本間

※一人10分程度とする。資料の提供があれば、本法人でパワーポイント画像を作成する。

○ 質疑応答

【思いで対話】 25分

○ 最も印象に残っている人・物・こと(体験)の紹介

鈴木 → 本間 → 柴田

※一人5分以内とする。具体物があれば持参、また写真等があればPP画像で

○ 質疑応答

【人生対話】 25分

○ 外国暮らしを終えて「以前と変わった自分(変えようと意識したこと)」又は「以前の自分(日本)のよさを再確認したこと」を紹介してまとめとする。

本間 → 柴田 → 鈴木

※一人3分以内とする。

○ 感想交流(質問は受け付けない)

④ 閉会のことば 浦野憲治

